

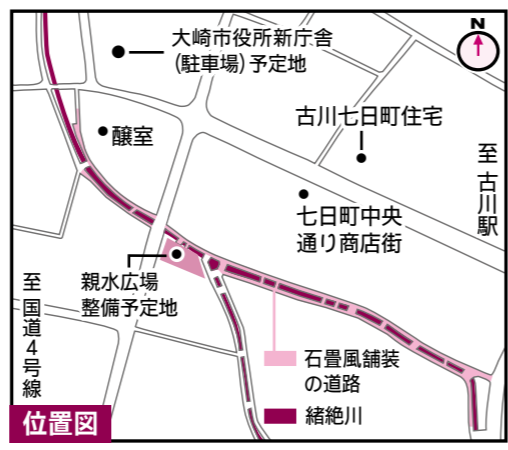
宝の都(くに)・おおさき 未来予想図

～ずっとおおさき・いつかはおおさき～

合併から12年が経過した本市では、宝の都(くに)・おおさきの実現に向けて、新たな事業が動き出しています。このコーナーでは、市役所本庁舎・鳴子総合支所庁舎・田尻総合支所庁舎の建設整備の進行状況や、中心市街地のまちづくりに関する事業の進捗状況を発信します。

vol.7 緒絶川周辺地区の景観形成

都市計画課まちなか整備推進室 ☎23-8069



市では、東日本大震災の復旧・復興に留まることなく、さらなる発展を目指す「大崎市中心市街地復興まちづくり計画」を進めています。

緒絶川とその周辺一帯は、昔ながらのたたずまいを色濃く残す古川地域のシンボリックエリアとなっています。そのため、大崎を訪れる多くの来訪者を呼び込むような整備、また、安心して誰もが気持ちよく歩ける歩行空間の形成が望まれています。

市では、民間活力を生かした良好な建築物の集積などによって、風情ある景観ゾーンの形成を目指します。その町並みを守り、中心市街地の歴史性を感じられ、個性と魅力が詰まった街づくりを今後も進めていきます。

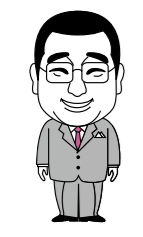
緒絶川周辺地区の整備

現在、緒絶川沿いでは、安全・安心に歩いて暮らせる街なか居住に配慮する整備を進めています。現在予定している主な内容は次のとおりです。

- ▶ 風情ある「石畳風舗装整備」
- ▶ 川のせせらぎを身近に感じられる「親水広場整備」
- ▶ 藤棚の増設やライトアップなどの「情景整備」
- ▶ 美しい景観形成を目指す「ルール作り」など

復興の歩みを報告しよう！自然災害が頻発する昨今、防災・減災・国土の強靱化を進めよう！の思いで全

「耕不尽」(耕せども尽きず)大崎・宮城から全国、世界へ発信してまいります。



大崎市長 髙橋 康志

市長コラム

天地人

「伊達の地」に水土里の絆

先頃、利府町のグランディ・21で、第41全国土地改良大会宮城大会を、地元会長として主催しました。7年前、同大会の開催準備を進めていた矢先に東日本大震災に見舞われ、復旧・復興を優先し、規模を縮小して「3・11東日本大震災復興支援水土里の集い」を開催しました。7年間、全国各地から厚いご支援をいただきながら復旧・復興に邁進し、現在では98%の農地が復旧し、営農を再開することができました。大規模区画に生まれ変わった農地では、農業の近未来の姿ともいえる営農を実現している優良事例も多数現れております。大崎耕土が世界農業遺産に認定されるなど、世界に誇る農業生産や、伝統的な農文化も受け継がれています。復興の歩みを報告しよう！自然災害が頻発する昨今、防災・減災・国土の強靱化を進めよう！の思いで全

11月1日現在の大崎市の人口 (単位:人・世帯)

地域	男	前月比	女	前月比	計	前月比	世帯数
古川	38,118	+ 2	39,555	- 7	77,673	- 5	31,393
松山	2,916	- 10	3,078	+ 1	5,994	- 9	2,199
三本木	3,921	+ 5	3,959	- 3	7,880	+ 2	2,696
鹿島台	5,747	- 14	6,130	0	11,877	- 14	4,544
岩出山	5,248	- 9	5,497	- 9	10,745	- 18	4,182
鳴子温泉	2,882	- 10	3,182	- 2	6,064	- 12	2,725
田尻	5,367	- 12	5,505	- 12	10,872	- 24	3,605
市全体	64,199	- 48	66,906	- 32	131,105	- 80	51,344

市政情報課統計担当 ☎23-5091

交通死亡事故件数

(11月15日現在・右欄は前年比)

発生件数	4件	0
死亡者数	4人	0

火災発生件数

(10月末日現在・右欄は前年比)

建物火災	21件	+ 4
林野火災	1件	+ 1
車両火災	5件	- 1
その他火災	6件	+ 1
合計	33件	+ 5

今月の納税

納期限：1月4日(金)
※市から送付する納付書や口座振替を利用している人の納期限です。口座振替を利用している人は、記帳にて残高と振替結果を確認してください。

納税課収納担当 ☎23-5148

空間放射線量の測定結果

(単位:マイクロシーベルト/h)

	地表面から1m	地表面から0.5m
11月19日測定		
市役所第2駐車場	0.05	0.05
松山総合支所	0.04	0.04
三本木総合支所	0.04	0.05
鹿島台総合支所	0.04	0.04
岩出山総合支所	0.05	0.05
鳴子総合支所	0.05	0.05
田尻総合支所	0.05	0.05

防災安全課 消防担当・交通防犯担当 ☎23-5144

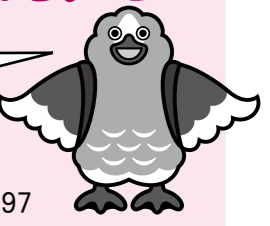
軽自動車税	—
固定資産税・都市計画税	第4期
市県民税	—
国民健康保険税	第8期
介護保険料	第8期
後期高齢者医療保険料	第6期
個人事業税	—

12月号の主な内容

- 4 大崎市のまちづくり、あなたはどう思いますか。
- 8 平成30年大崎市表彰式
- 10 平成29年度決算の概要
- 14 市政トピックス 11月の主な出来事
- 15 地域発！お・ら・ほ・の・ま・ち
- 16 オオサキプレイガイド
- 20 今月のお知らせ 各計画に対する皆さんからの意見を募集します ほか
- 30 子育て支援情報
- 31 育児相談・乳幼児健診
- 32 休日当番医 ほか

パタ崎さんの観光ひとくちメモ

その29
今年もあの四季島がやってくるよ



観光交流課 ☎23-7097

本年度も豪華寝台列車「トランスイート四季島」が大崎市にやってくるよ。昨年度は485人もの乗客の皆さんが訪れたんだ。おもてなしには、市内各地域から総勢800人を超える皆さんが、盛大に迎えてくれたよ。みんなの心温まるおもてなしが評価されて、JR東日本から感謝の意が込められた記念の盾をいただいたんだ。協力いただいた皆さん、本当にありがとう！

今年も、乗客の皆さんだけでなく、地域のみんなが記憶に残るおもてなしをして盛り上げていこうね。見送る際は「また来てね」という思いを込めて手を振るだけでも気持ち伝わるかもよ。

今月の表紙

11月10日～12日、鹿島台地域の秋の風物詩「鹿島台互市」が開催され、200店を超える露店が立ち並びました。

鹿島台互市は、明治43年に当時の鎌田三之助鹿島台村長が、村で生産した農作物や加工品と、村外の物産を互いに売り買いするための市として開設しました。現在は、市内外から多くの人々が訪れ、全国各地の名産品を買い求める東北最大級の伝統の互市となっています。



普段は閑静な小路に人波ができ、露店から元気な声飛び交う活気に満ちた様子は、鹿島台地域の長年にわたる伝統と文化を感じさせます。

◀秋の花々を眺め楽しむ来訪者